

感恩のこころ

No.8

関西福祉科学大学教育後援会 広報誌

1942年（昭和17年）玉手山高等女学校創設、建学の精神に「感恩」を掲げ、爾來「ありがとう」を大切にする教育に邁進してまいり



—青窈さんのサインと一緒に

若い関西福祉科学大学の力 開学16年目、卒業生6,000名

学校法人玉手山学園 理事長
関西福祉科学大学 学長 江端 源治

りました。学園創設70周年を機に一層の発展向上を期し、学園ビジョンの第一番目に『豊かな心の育成』を掲げ、学生の成長を願い、誠実に教育研究活動に取り組んでまいります。教育後援会（保護者）の皆さまには、平素より本学の教育活動にご支援をいただき、また70周年に際し多額のご寄付を賜り厚く御礼申し上げます。すべて学

校は開学16年目の若い大学、それでも卒業生総数は6,000名を超え、頼もしい存在になつてまいります。1期生も30半ばの歳となり、職場で指導的・経営的立場になつてきました。去る9月2日には、70周年玉手山学園all同窓会、

関西福祉科学大学は、建学の精神「感恩」のもと、豊かな人間性を持ち福祉社会に貢献し得る人材育成を目指しております。今日で



は、地域、医療、産業、教育など分野において、約6,000名の卒業生が活躍されていることは誠に素晴らしいことだと感じております。

平成17年4月、教育後援会は、

大学と家庭との連携を密にし、在学生の学業及びキャリア形成への支援、さらに大学の教育振興に寄与することを目的として設立さ

れ、進路指導への助成、福利厚生の支援、自然災害時の緊急支援や家計急変時の奨学金制度等の事業を行っております。

また、保護者と大学との連携、協調を重視し、毎年教育懇談会を開催しております。昨年は本学・岡山市・和歌山市にて開催し、先生方による講演会、就職状況の説明会、個別面談会や卒業生による

教育後援会会長 坂本 河代子

坂本 河代子

体験談発表が行われました。卒業生の体験談では、毎回、保護者の皆様から自信と信念を持って社会で活躍している姿に感動したとの感想をいただいております。まだ参加されたことのない保護者の皆様には、是非この機会にご参加いただきたいと思います。

現在、社会情勢の低迷や自然災害等まだ厳しい状況が続いている、教育後援会では学生の方々が有意義な学生生活を送り、卒業後にそれぞれの分野で活躍できるよう積極的な支援活動を続けていきたいと考えております。会員の皆様におかれましては、引き続きご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



平成24年度 総会

平成24年6月2日(土)大学4号館1階大講義室に於いて、平成24年度関西福祉科学大学教育後援会総会が開催され、平成23年度事業報告および決算報告、平成24年度役員改選、平成24年度事業計画および予算の審議事項はすべて承認されました。

また、第3号議案「学園創立70周年記念事業募金への寄付」について、1,000万円を学校法

金に寄付することにつき説明があり、原案通り出席者の拍手多数をもって承認されました。すでに会員の皆様には、「報告書」として発送しておりますのでご確認ください。

なお、当日の総会に引き続き、福祉栄養学科 志水秀郎教授による講演「アンチエイジングサイエンス」と、各学科の卒業生による「卒業生体験談」、学生支援センター長による「資格就職セミナー」が行われました。



平成24年度 事業計画

1. 学生の学業および課外活動への助成

- (1) 奨章事業
- (2) 学業優秀者表彰
- (3) 社会貢献活動表彰等

- (1) 学業優秀者表彰
- (2) クラブ・サークル等強化・育成支援
- (3) 学友会活動の助成・支援
- (4) 図書館事業に係る助成
- (5) 海外研修制度の助成

2. 学生の進路指導への助成

- (1) 資格取得に向けた学習活動への助成
- (2) キャリア形成に係る自己啓発への助成
- (3) 就職活動に係る支援
- (4) 施設・備品等の充実助成

3. 学生の福利厚生を支援するための事業

- (1) 学内における緊急的な病気・ケガ等に対する助成
- (2) 学生総合保険の内容充実支援
- (3) 学生の健康管理助成
- (4) 施設・備品等の充実助成

4. 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業

- (1) 家計急変による生活困窮学生への奨学金制度
- (2) 災害救助法適用地域の学生支援制度
- (3) 学生の健康管理助成
- (4) 施設・備品等の充実助成

5. 本学と会員相互の連携を図る事業

- (1) 教育懇談会の開催(大学と共に)
- (2) 後援会広報誌の発行
- (3) ホームページの内容充実

6. その他本会が必要と認めた事業

- (1) 地域社会連携事業への支援および助成
- (2) 教員の学術・教育研究および職員の研修に係る助成
- (3) 同窓会との相互連携に係る助成
- (4) 学園70周年記念事業への支援

2. 学生の進路指導への助成

- (1) 資格取得に向けた学習活動への助成
- (2) キャリア形成に係る自己啓発への助成
- (3) 就職活動に係る支援事業

3. 学生の福利厚生を支援するための事業

- (1) 学内における緊急的な病気・ケガ等に対する助成
- (2) 学生総合保険の内容充実支援

5. 本学と会員相互の連携を図る事業

- (1) 教育懇談会の開催(大学と共に)
- (2) 後援会広報誌の発行
- (3) ホームページの内容充実

6. その他本会が必要と認めた事業

- (1) 地域社会連携事業への支援および助成
- (2) 教員の学術・教育研究および職員の研修に係る助成
- (3) 同窓会との相互連携に係る助成
- (4) 学園70周年記念事業への支援

平成23年度 事業報告

1. 学生の学業および課外活動への助成

- (1) 奨章事業
- (2) 学業優秀者表彰
- (3) 社会貢献活動表彰等
- (4) 学術文化・スポーツ活動奨励賞
- (5) 図書館事業に係る助成
- (6) 海外研修制度の助成

4. 自然災害等による学生の家計急変に対する支

- (1) 家計急変による生活困窮学生への奨学金制度
- (2) 災害救助法適用地域の学生支援制度
- (3) 学生の健康管理助成
- (4) 施設・備品等の充実助成

5. 本学と会員相互の連携を図る事業

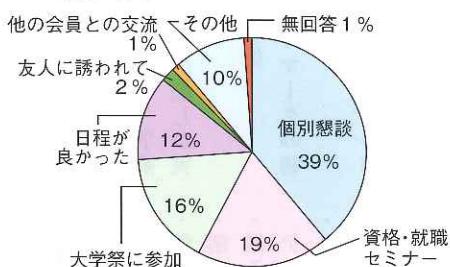
- (1) 教育懇談会の開催(大学と共に)
- (2) 後援会広報誌の発行
- (3) ホームページの内容充実

6. その他本会が必要と認めた事業

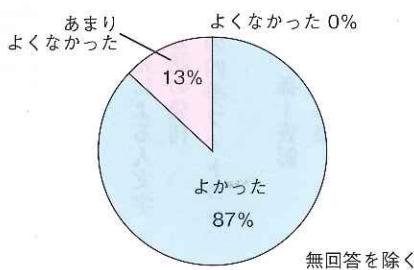
- (1) 地域社会連携事業への支援および助成
- (2) 教員の学術・教育研究および職員の研修に係る助成
- (3) 同窓会との相互連携に係る助成
- (4) 学園70周年記念事業への支援

本学会場アンケートより 平成23年度教育懇談会

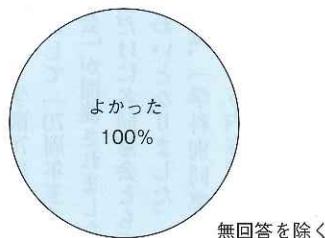
Q 本日ご出席いただいたのは? (理由・目的)
<複数回答可>



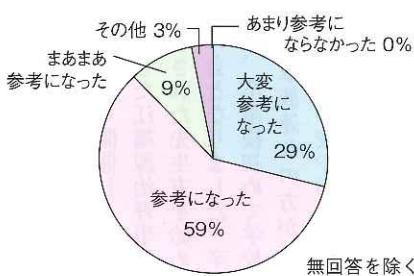
Q 今回の講演はいかがでしたか?



Q 今回の卒業生体験談はいかがでしたか?



Q 資格・就職セミナーはいかがでしたか?



教育懇談会に参加して

平成23年度教育懇談会

昨年度は、11月から12月にかけて、大阪（本学）、岡山、和歌山の会場で教育懇談会を実施し、96組118名の保護者の方にご参加いただきました。参加された皆さまからのご感想を紹介させていただきます。

一年に1回ですが、このような場に参加出来てよかったです。

個別面談会でゼミの先生の話が直接聞けたことがすごくよかったです。

（健康1年）

今回の講演会は大変興味深く、参考になりました。次回も又、参加したいと思います。ありがとうございます。（栄養1年）

就職された卒業生の方々、一生けん命がんばられている姿が、とても印象的でした。これから、色々なことがありますと思うのですが、頑張って下さい。（社福2年）



今回参加させて頂いて、大学祭の学生の様子の楽しそうな事、懇談会の内容の充実している事に、とても満足しております。今後共、学生がより良い人生の第一歩としての就職支援等（資格講座も含め）に力を入れて下さる様お願い致します。（社福3年）

12月2日(日)には和歌山市、12月9日(日)は高松市で開催いたします。

和歌山会場では、教員との個別面談会のほか、関西女子短期大学保健科高田講師による講演「生活習慣と健康」、卒業生による体験談や和歌山県商工観光労働部労働政策課より「和歌山県で就職しよう」の講演を予定しております。

高松会場では、同じく個別面談会、社会福祉学部社会福祉学科野村講師による講演「日本の精神保健とイタリアの地域精神医療」、卒業生体験談や香川県商工労働部労働政策課より「香川県におけるUターン就職について」の講演を予定しております。

教育懇談会では、日頃の学修状況、学生生活、就職問題等の情報を直接得ることのできる貴重な機会となつております。万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

教育懇談会開催

今年度11月10日(土)に本学にて教育懇談会を開催いたしました。

【お問い合わせ先】
関西福祉科学大学 総務部 吉田・山本
TEL 072-1978-1008 代
高松会場
ダイワロイネットホテル和歌山
(南海本線和歌山市駅より徒歩8分)
平成24年12月2日(日) 11時～16時
高松会場
リーガホテルゼスト高松
(JR高松駅から徒歩10分)
平成24年12月9日(日) 11時～16時

学園創立70周年記念行事

学園創立70周年記念行事・事業は、これまで次の14件の催しが実施されています。

- ・省エネルギー標語募集
- ・創立70周年シンボルマークの制定
- ・創立70周年記念中学生バレー
- ・ボーラー大会
- ・大学・短大・高校合同オープンキャンパス
- ・乙武洋匡氏による創立70周年記念講演「みんなちがって、みんないい」
- ・創立70周年記念K'sコンサート

・二上山登山

・学生・生徒・園児による人文字

・創立70周年記念誌の発刊

・撮ろう！学園の四季フォトコンテスト

・3世代～親・子・孫～表彰

・広場・小路等の名称募集

・創立70周年記念式典・祝賀会

・70周年記念玉手山学園all同窓会

・また、平成23年6月1日より開始した創立70周年記念寄付事業

は、平成25年3月31日まで引き続

き実施されます。

「70周年玉手山学園all同窓会」開催

9月2日(日)、学園70周年記念行事の一環として「70周年玉手山学園all同窓会」が開催されました。

学園同窓会だけに各同窓会とも近年にない賑わいとなりました。大

学同窓会では、「学科別同窓会」と「懇親会」という内容で開催されまし

た。午前中に始まった第1部学科別同窓会では、4学科・2

専攻が4講義室に分かれて情報交換会や近況報告会を開催し、213名

の先生方や卒業生の皆様が参加さ

れました。

午後から第2部懇親会を大学本

館1階食堂で開催し、来賓としてお招きした江端源治理事長・学長や退職された先生方を始め、総勢270名の会となりました。卒業生の中には、卒業後初めて学校を訪れた方や家族連れの方が多数おら

れ、懐かしい友やお世話になつた先生と語り合い、お互いの写真を撮り合い、また次回会う約束をし

ているグループがいたるところで見受けられました。

懇親会終了後は、学校法人玉手山学園が主催する「FM 80.2 Special Live 「一青窈」」が開催さ

70周年記念式典

去る平成24年5月11日(金)帝国ホテル大阪にて、学園創立70周年記念式典・祝賀会が開催されました。

第1部の記念式典・祝賀会には、

大阪府私学・大学課課長市橋康伸氏、日本私立大学協会副会长森田嘉一氏、大阪府私学総連合会 理事長野田賢治氏、柏原市長岡本泰明氏の4名のご来

賓を含め、700名に上る多くの方々のご臨席を賜り、盛会のうち終りました。

式典では、江端源治理事長から

「現代日本は経済低成長と若者の学力低下、さらに総人口の減少に

あえいでいる。今世紀を若者の時代にすべく、建学の精神である『感恩』を忘れず、さらに社会のお役に立ちたい」と挨拶がありました。

来賓の祝辞に続き、3世代表彰、学生・生徒・園児による誓いのことばもあり、最後は学園歌(二上山)の齊唱で幕を閉じました。



江端理事長の挨拶



学生・生徒・園児による誓いのことば

れ、多くの卒業生の皆様が記念講堂と2ヶ所のライブ映像会場(2ヶ所の大講義室)に分かれてコンサート鑑賞されました。コンサートは江端理事長の70周年への感謝と同窓生への歓迎の挨拶から始まり、続いて登場した一青窈さんによつて記念講堂は最高潮に盛り上がり、会場を埋め尽くした同窓生等は幻想的な演出と一青窈さんの歌唱力に魅了されました。



FM 80.2 Special Live 「一青窈」の様子

第17回 近畿高校・ 大学福祉学科連絡協議会

2012年6月23日(土)、本学にて
第17回近畿高校・大学福祉学科連絡協
議会(以下、「近福協」)を開催し、高
校24校30名、本学教職員14名の計44名
が参加しました。

近福協は、高校と大学との
高大連携を目的に開催さ
れるもので、昨年度より本
学が事務局を担当しています。
通常、この時期に開催
される協議会は総会および
各高校の現状報告が主にな
りますが、今回は、文部科
学省教科調査官の矢幅清司
氏より「日本の福祉と福祉
教育の未来像—福祉教育で
つながる高校と大学—」と
いうテーマでご講演いた
きました。



連絡協議会の様子

どまりましたが、今後は、本会を積極
的に活用し、高校教員と大学教員との
相互交流や意見交換を活発に行な
く予定です。

1日目は効果的なラインケア研修
の企画、資料作成、プレゼン実習
までをグループワークで行いました。
2日目はラインケアの中でも
特に最近注目されているパワーハラ
を取り上げ、まずエキスパートに
による講義を受けて理解を深め、そ
の後、社内で実施するパワーハラ
防研修を具体的に企画し、グル
ープ毎にプレゼンを行いました。中
には寸劇形式で研修を企画したグ
ループもあり、プレゼンの際には
白熱の演技で大いに盛り上がりま
した。全ての参加者が和気藹々と
楽しく取り組み、活気溢れる研修
となりました。



メンタルヘルス推進担当者養成講座参加者の皆さん



学生主体で行った顔スタッフの研修



2012年8月3日(金)と4日
(土)、キャンパスポート大阪にて
関西福祉科学大学EAP研究所と
医療法人あけぼの会共催による

「メンタルヘルス推進担当者養成講座」
アドバンストコース実施報告

入試広報部では、広報活動やオープ
ンキャンパスで、「顔スタッフ」(大学
の顔)として多くの学生の方々にご活
躍いただいています。
「顔スタッフ」希望者には毎年数回、
社会人基礎力を身につける研修を行
っています。今年の研修では、先輩の「顔
スタッフ」が中心となって研修が行わ
れました。基本マナーや服装の注意点
など、実践を交えた研修に参加した
学生はとても熱心に聞いていました。
先輩の白熱した研修内容に、「とても
勉強になりました。」「参考になること
がたくさんありました。」という意見

が多數寄せられました。

おかげさまで自信に満ちた「顔ス
タッフ」の活躍により、今年のオープ
ンキャンパスも盛況の中での毎回の開
催となりました。

人事・労務担当者、EAP関係者、
医療法人あけぼの会共催による

臨床心理学科

子育てひろばでの実習体験

臨床心理学科には柏原市の子育

て広場「ほっとステーション」で、実習を行う臨床心理学実習Ⅲとい

う授業があります。広場は3歳以下の乳幼児親子が集う子育て支援

施設で、保育士が常駐して子ども

の発達や母親の育児不安などに応

える相談機能も備えています。実

習の目的は①学生の人と関わる力

の涵養、②発達や親子の関係性を

見る日の養成、③自分の支援觀を

生成することです。

履修対象は4年生。乳幼児の發

達やアセスメント、発達臨床や家

族支援、カウンセリング技法など、



子育て広場“ほっとステーション”にて、実習中の学生

東日本大震災の被災地支援

プロジェクトで本学学生が活躍中

東日本大震災で日々被災者を支援する社会福祉専門職（ソーシャルワーカー）にインタビューし、そ

れまでに学んだ知識やスキルを駆使して実習に臨みます。最初は乳幼児や母親におすおすと近寄っていた学生も、回を重ね、大学での振り返り授業を行うことで発達

がわり子どもに合わせて遊べるようになり、また母親から色々な話を聞かせてもらえるようになりました。

これまでに学んだ知識やスキルを駆使して実習に臨みます。最初は乳幼児や母親におすおすと近寄っていた学生も、回を重ね、大学での振り返り授業を行うことで発達

がわり子どもに合わせて遊べるようになり、また母親から色々な話を聞かせてもらえるようになりました。

これまでに学んだ知識やスキルを駆使して実習に臨みます。最初は乳幼児や母親におすおすと近寄っていた学生も、回を重ね、大学での振り返り授業を行うことで発達

がわり子どもに合わせて遊べるようになり、また母親から色々な話を聞かせてもらえるようになりました。

これまでに学んだ知識やスキルを駆使して実習に臨みます。最初は乳幼児や母親におすおすと近寄っていた学生も、回を重ね、大学での振り返り授業を行うことで発達

がわり子どもに合わせて遊べるようになり、また母親から色々な話を聞かせてもらえるようになりました。

これまでに学んだ知識やスキルを駆使して実習に臨みます。最初は乳幼児や母親におすおすと近寄っていた学生も、回を重ね、大学での振り返り授業を行うことで発達

がわり子どもに合わせて遊べるようになり、また母親から色々な話を聞かせてもらえるようになりました。

これまでに学んだ知識やスキルを駆使して実習に臨みます。最初は乳幼児や母親におすおすと近寄っていた学生も、回を重ね、大学での振り返り授業を行うことで発達

がわり子どもに合わせて遊べるようになり、また母親から色々な話を聞かせてもらえるようになりました。

健康科学科の学生が

インターンシップでがんばっています

が評価されています。

学生が大学での学びと社会で働くことを関連づけていけるように、健康科学科では夏休みの間にインターンシップに参加することを2、3年生に奨励しています。大学コンソーシアム大阪主催のプログラムや学科独自のプログラムに平成23年度は9人、平成24年度は6人が参加しました。実習先は市役所、保育所や介護施設、一般企業など様々です。学科では産業現場で行われている安全・

健康管理について体験的に学ぶようになっています。参加者の感想では、今後の大学生活の送り方や就職活動に役立つものになつたということでした。実際には4年生になつた昨年度の参加者では早期に内定をもらうなど就職活動で健闘しています。またコンソーシアム大阪主催のプログラムの今年度の事前研修において昨年度の参加者（現3年生）が体験者として話す機会が与えられるなど、

本学健康科学科学生の積極的な姿勢



昨年度インターンシップ体験をした学生の発表の様子

した。

学生自身の豊かな発想のもと、このプロジェクトが益々伸びやかに発展するよう期待しています。



プロジェクトに参加した学生たち



栄養士・管理栄養士会参加者のみなさん

第1部の総会では、江端学長をはじめ、的場学科長、大迫雅人会長のご挨拶に始まり、滞りなく議事が進行されました。

これに続く第2部は、本学科3期生2名の講演会で、社会福祉法人堺市福祉事業団管理栄養士の西村尚子さんによる「障がい児への個別対応の実践（プラダーウィリー症候群の児への給食提供）」と、独立行政法人国立病院機構岡山医療センター管理栄養士の永田真紀さんによる「腎移植カンファレンスに携わって、チーム医療における管理栄養士の役割」という演題で日ごろの研究成果を報告してくれました。

各々、管理栄養士の専門性が發揮される希有名な対象であり、高度な技術を持つ専門施設や高度総合医療センターという限られた施設からの研究報告ですが、具体例を通じた丁寧な講演は、企業、福祉施設や医療機関を問わず、卒業生はもちろん、在学生の向う心を喚起させたようです。演者と卒業生、在学生との間で

第1部の総会では、江端学長をはじめ、的場学科長、大迫雅人会長のご挨拶に始まり、滞りなく議事が進行されました。

これに続く第2部は、本学科3期生2名の講演会で、社会福祉法人堺市福祉事業団管理栄養士の西村尚子さんによる「障がい児への個別対応の実践（プラダーウィリー症候群の児への給食提供）」と、独立行政法人国立病院機構岡山医療センター管理栄養士の永田真紀さんによる「腎移植カンファレンスに携わって、チーム医療における管理栄養士の役割」という演題で日ごろの研究成果を報告してくれました。

各々、管理栄養士の専門性が發揮される希有名な対象であり、高度な技術を持つ専門施設や高度総合医療センターといふ限られた施設からの研究報告ですが、具体例を通じた丁寧な講演は、企業、福祉施設や医療機関を問わず、卒業生はもちろん、在学生の向う心を喚起させたようです。演者と卒業生、在学生との間で

平成24年2月25日（土）に本学福祉栄養学科卒業生により「栄養士・管理栄養士会第3回研修会および交流会」が開催されました。当日は、卒業生37名、学生68名、教職員13名、合計118名の参加で盛会となりました。

第1部の総会では、江端学長をはじめ、的場

学科長、大迫雅人会長のご挨拶に始まり、滞りなく議事が進行されました。



講演を真剣に聞く学生たち

第3部は、各業界で活躍している本学科3期生4名のシンポジウムで、松田真有美さん（ブライムデリカ株式会社）、田場将嗣さん（社団法人水口病院）、松下智香子さん（和泉市役所）、勝連菜美さん（株式会社柿安本店）をシンポジストとして迎えました。

シンポジウムの質問で、在学生とくに3年生か

ら多数の手が挙がり、シンポジストとフロアとの

間では、活気あふれるやり取りが行われ、大いに盛り上がりました。

交流会は、学園本館2階食堂においてビュフェ形式で、卒業生・学生・教職員がざつくばらんに楽しい語らいのひと時を過ごしました。

「先輩方みたいになりたい、理想がカタチになつて、目の前に現れた感じです」という在学生の言葉や「私達が受けた先生方の教えや情熱を、社会へ還元するのは当然ですけど、後輩へ返してあげたい。だから、私達も頑張っているのです」という卒業生の思いは、まさに参加した全員の気持ちを代表するものでした。本学の「感恩」を体現しており、本学科で連綿と受け継がれていくの

です。皆れを惜しみながら再会と健闘を誓いました。

福祉栄養学科

第3回栄養士・管理栄養士会開催

1年生、2年生は基礎ゼミナールでここなことをしています

福祉栄養学科 第3回たっぷりVege食べる料理コンテスト 『おすすめレシピ集』 ができました！

福栄養学科では、学園内の皆さんに野菜をおいしくたっぷり食べてもらえるよう、野菜の料理コンテストを開催し、学園内で人気投票を行いました。そしてこの度、教育後援会の助成を受け、上位作品を掲載した『おすすめレシピ集』が完成しました。レシピ集に掲載された作品は本年度のオープンキャンパスにて、Fukkaヘルシーランチとして提供され、秋学期には学園内の3食堂で販売化され、大変好評を得ています。レシピ集は学内で配布しています。



教育後援会会长賞（人気投票の1、2位）を受賞した3年林良恵さん（左）と2年足立和也くん（右）

保健医学部での基礎ゼミナールは、1年生（春・秋）、2年生（春・秋）の4期にわたって行っています。1年生におけるゼミナールの目的は、大学における学びの基盤の理解を深め、その基礎能力を滋養することであり、「読み、聞く能力」「話す、書く能力」を高めて「考える能力」を身につけることを目指しています。このため、1年生ではPT、OTの区別無く学生を配置し、ゼミ担当教員が共通のカリキュラムで討論の仕方、レポートの書き方、発表の仕方を教授しています。

また、2年生におけるゼミナールの目的は、医療に従事する専門職としての基盤となる能力を身につけることであり、PT、OTに分かれて各々の分野に対応する個別のカリキュラムを行っています。これらの



基礎ゼミの風景

カリキュラムを通して、学生自身が「学ぶことの意味」を考え、「専門知識・倫理・技術」などに興味を持ち、それらの「理論や実践」を身に付ける意欲が高まることを期待しています。

就職担当者からのメッセージ

学生支援センターの就職担当者からのメッセージを紹介いたします。各学科により就職活動の開始時期や活動内容は異なりますが、どの学科も学生の立場に立ったきめ細かいサポートをおこなっています。就職に関する相談をはじめ、面接に向けての対策や履歴書・エントリーシートの書き方など就職に関してあらゆる面から支援を行っています。就職活動をする上の悩みや不安がある場合は学生支援センターまでお気軽にご相談ください。

■健康科学科

健康科学科では、一般企業への就職支援とは別に、養護教諭を希望する学生のための「教員採用試験対策プログラム」も数多く用意しています。このとももあり昨年度も西日本でトップクラスの公立学校教員採用試験（養護教諭）の

合格者を輩出することができます。学んだことを活かす就職サポートが就職率98.6%という結果につながっています。

福栄栄養学科では、9月現在4

年生の約半数が就職内定を得ています。

今後は卒業の直前まで管理

栄養士・栄養士専門職の就職活動

が続きます。

12月からは3年生の企業就職に向けての活動が始まり

ます。本学科では学科教員と就職

担当職員が連携して、3年生から

学科独自の就職ガイダンス及び個

別面談を実施するなど、学生一人

ひとりにきめ細かい指導・支援を

行います。

「予復習をしなかった」「自分

の意思で毎日コツコツと勉強しな

かった」が約8割を占めており、大

多数の入学生は普段勉強していな

かったことがわかります。その一

方で宿題や課題をきちんとやつて

いた人は約8割を占めており、積

極的とまでは言えないものの求め

られたことにはきちんと取り組む

真面目な面もうかがえます。しか

し、宿題や課題をやつていなかつ

た人が約2割いることに着目しな

ければなりません。

教育開発支援センターでは、学

生が学習習慣を身につける方策を

考え実践していきます。保護者の

皆様におかれまして、御子息・

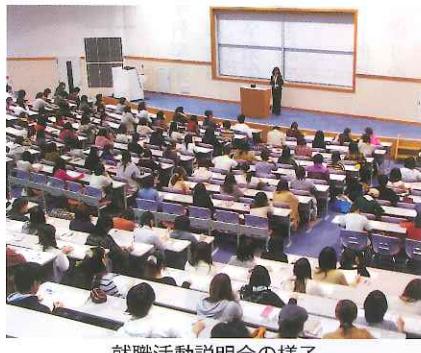
御息女の日々の学習に目を向けて

くださるようお願い申し上げます。

学生調査で明らかになつた大学入学以前の学習習慣 —学習習慣を身につけよう!—

■臨床心理学科

臨床心理学科では例年、臨床心理士の資格取得に向けて大学院への進学を希望される学生も多く、早い時期から学科教員のサポートを受け、進学に向けた準備をおこなっています。就職面でも福祉・医療分野での専門領域をはじめ、一般企業への就職に向けても学生一人ひとりの適性を見ながら、希望者に応じたサポートを行っています。



就職活動説明会の様子

■社会福祉学科

社会福祉学科では専門性を活かして、福祉・医療分野をはじめ、公務員などへの幅広い分野に就職内定を得ています。一般企業は3年生の12月1日より就職活動が開始されますが、福祉・医療関連と公務員等の就職活動時期は4年生の4月以降と、活動時期が異なります。本人の希望に合わせ、夫々の活動時期に手厚く就職支援を行っています。

■福祉栄養学科

福祉栄養学科では、9月現在4年生の約半数が就職内定を得ています。今後は卒業の直前まで管理栄養士・栄養士専門職の就職活動が続きます。12月からは3年生の企業就職に向けての活動が始まります。本学科では学科教員と就職担当職員が連携して、3年生から学科独自の就職ガイダンス及び個別面談を実施するなど、学生一人ひとりにきめ細かい指導・支援を行います。

図1 高校生のときの学習

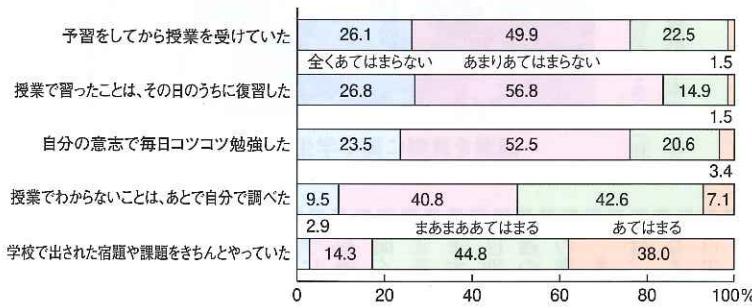
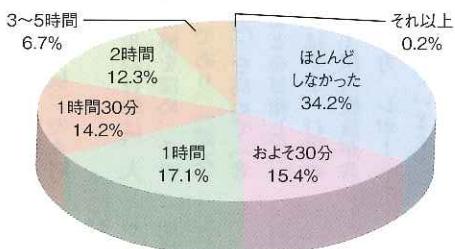


図2 高校1・2年生のときに平日の学校での授業以外で何時間くらい勉強していたか

(学習塾・予備校・家庭教師について勉強する場合も含む)



感恩のこころ

第8号 平成24年11月発行

発行：関西福祉科学大学教育後援会
編集：関西福祉科学大学広報誌発行委員会

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1 TEL 072(978)0088 FAX 072(978)0377